

博物館★MUSEUM に行ってみよう

- 博物館って
何をしているところだろう?
- 博物館に行くど
何か発見できるのかな?
- 博物館で
どんなことがわかるんだろう?
- 博物館で
なにができるんだろう?

鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

Tel. 0857-23-2140



やまびこ館では、10月17日から「とっとりのお宝おひろめ～鳥取県指定文化財新規指定記念展～」が開幕します。昨年度に新たに鳥取県が指定した文化財を展示しています。

鳥取の歴史や文化、自然を語る、貴重な「お宝」を通じて、鳥取の魅力を学ぶことができます。

※現在、常設展示はリニューアル工事中です。

鳥取市因幡万葉歴史館

Tel. 0857-26-1780

大伴家持が『万葉集』最後の歌を詠んだ鳥取市国府町にある施設です。常設展示では万葉集と大伴家持、国府町の古代の歴史や文化、古代の食事や染め、因幡地方の民俗芸能などを紹介しています。

万葉集に詠まれた植物約50種類がある庭園や、国府平野を一望できる高さ約30メートルの展望塔もあります。



仁風閣・宝扇庵

Tel. 0857-26-3595

明治40年、当時の皇太子(のちの大正天皇)が鳥取の訪れた時に、御座所として建てられました。鳥取県で初めて電灯がともされた建物で、現在もエジソン電球の光が館内を照らしており、鳥取県の近代化の歩みを学ぶことができます。



現在は建物や鳥取城にまつわる展示の他、色々なイベントを開催しています。写真撮影に訪れたり、イベントに参加したりしてみよう。

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

Tel. 0857-85-0841

国史跡青谷上寺地遺跡は大量の遺物がたいへん良い状態で出土したことから、「地下の弥生博物館」とも呼ばれ、弥生時代の生活を知る上で欠かせない遺跡です。



展示館では弥生人の脳をはじめとする出土遺物やレプリカを展示しており、弥生人の生活・技術・祈り・交易などを分かりやすい解説で学習することができます。

7種類の体験学習(鋳造体験・ミニ土器づくり・滑石勾玉づくり・かごづくり等)で、弥生人の生活・技術を楽しみながら学ぶことができます。

鳥取市あおや郷土館

Tel. 0857-85-2351

あおや郷土館は、鳥取市西地域の芸術・歴史・文化を調査研究し、展示会を開催します。また、児童生徒や町民の作品展示も開催します。

また、ロビーに常設している山陰海岸ジオパークのコーナーでは、地質・地形などの自然と、そこで営まれる人々の暮らしを紹介しています。鳴り砂の成り立ち、夏泊の海女漁の歴史など、わかりやすく解説します。



鳥取市あおや和紙工房

Tel. 0857-86-6060

「因州和紙」の伝統に支えられつつも、新しい時代の和紙の可能性を展望するミュージアムであると同時に、実際に和紙づくりを体験できるアクティビティ機能も備えています。

また年間を通して、和紙にちなんだ様々なテーマの企画展も開催しています。

地元の伝統文化の教育普及、情報発信、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしています。



城下町とっとり交流館 高砂屋

Tel. 0857-29-9024

明治時代中頃に綿商いを行ってきた商人の家。鳥取大地震や鳥取大火でも失われることのなかった貴重な建物です。店と蔵と庭が一体となった当時の商家がどのようなものであったかを知ることができます。

現在は鳥取県の民芸品の販売、貸施設として活用、季節のイベント(端午の節句、ひなまつりなど)や蔵での常時展示も開催しています。

